2020年度の取り組み　トピックス

コロナをこえて ～やさしさをチカラに～

2020年度は新型コロナウイルスの影響で、私たちの暮らしは様々な試練に見舞われました。
今まで当たり前であったことが急に出来なくなったり、大切にしてきたつながりが
分断されたり。そんな中、一人ひとりにできることは小さいけれど、ささやかな営みが
つながることで、世界をやさしさで満たせたら。そう願い、組合員や地域と共に進めてきた
「コロナをこえて」の取り組みを振り返ります。

01

貧困 飢餓 健康と福祉 まちづくり

地域食堂を お弁当で再開しました

各地域の「みんなの食堂」「こども食堂」が、新型コロナウイルスの影響で活動休止に。代わりに2020年度はお弁当の配食で、活動を再開したところが複数ありました。お弁当を取りに来られた高齢者や子どもたちとの久しぶりの対面に、活動者も元気をもらいました。

コープこうべは、こうした形で活動を継続するこども食堂などに対して、フードドライブなどの食料品支援の取り組みを強めました。

02

まちづくり 生産・消費

期待をチカラに 宅配ご利用組合員の増加

外出をなるべく控えたいというニーズが増加。自宅まで商品をお届けする宅配事業の利用者が急増し、2021年２月には宅配登録軒数が50万軒を超えました。組合員や地域の暮らしを支える生協として、宅配事業に対する期待にしっかりと応えてまいります。

03

成長・雇用 まちづくり パートナーシップ

福祉作業所と連携 「つながるマルシェ」を開催

地域イベントの中止が続き、福祉作業所では商品を販売する機会が減ってしまい深刻な課題の一つになっています。そこで、2021年2月・3月、各地域の福祉作業所と障がい者支援団体、コープこうべが連携し、「つながるマルシェ」を実施しました。

心身に障がいを持つ人たちが生産したパンや焼き菓子、手芸品、雑貨などを販売。34店舗にのべ100以上の事業所が出店し、地域との交流や、やりがいにつながりました。

04

健康と福祉

SNSの活用で「家食」応援

自宅で食事をする機会（「家食」）が増加。各地区本部では広報誌だけでなく、インスタグラムやフェイスブックなどのSNSを活用し、手軽で栄養バランスに考慮したレシピを動画で紹介するなど、家庭での食事作りを応援しました。

また、オンライン料理会も開催し、出来上がった料理を参加者がSNSにアップするなど、双方向でのやり取りが実現しました。

05

まちづくり

ひょうご消費者セミナー「コロナ時代の居場所の見つけ方」

適格消費者団体の認知度向上のため、兵庫県生協連、認定NPO法人ひょうご消消費ネット、NPO法人消費者支援機構関西とコープこうべの4団体が主催者となり、くらしのさまざまなテーマについて毎年1回「ひょうご消費者セミナー」を開催しています。

自分の居場所を見失っている人が増加している中、「人」と「人」とが集える場の大切さを今こそ感じてほしいとの想いから、2021年2月に開催。罪を犯した少年やJKビジネスに走る少女と対話を続け、支援や居場所づくりを続けてきた講師の語りから、コロナ時代の「居場所」探しの大切さを学びました。

06

健康と福祉　まちづくり　生産・消費

「高齢者等専用のお買い物時間」へのご協力ありがとうございました

2020年4月から5月、店舗の開店直後の30分間を「65歳以上のご高齢の方」「お身体に障がいをお持ちの方」「妊産婦の方」専用のお買い物時間として設定しました。

新型コロナウイルスの影響により多くの方が不自由な思いをされていた中、組合員の皆さまのご理解とご協力のもと、特に不安を感じていた方々に、安心してお買い物いただくことができました。現在は「店舗ごとに、空いている時間帯をお知らせする」スタイルに変更し、お買い物しやすい時間を選んでご来店いただけるよう、環境整備を進めています。

07

貧困　健康と福祉　まちづくり　パートナーシップ

社会的に弱い立場にある人への食料品提供の取り組み

2020年5月から7月にかけて米やカップ麺、レトルト食品などの即食品の提供を呼び掛ける緊急フードドライブを41店舗で実施しました。また同年5月には、ハート基金※を活用し、「新型コロナウイルスは自然災害と同等の影響を及ぼしている」という考えから、年間1000万円を上限に拠出を決定。地域の社会福祉協議会をはじめ、フードバンクや子ども食堂、シングルマザー支援団体、大学生など100を超える団体に食料品（米・麺・餅など）を提供しました。食料品は団体を通して、社会的に弱い立場にある方々への支援に活かされました。

※ハート基金：コープこうべ災害緊急支援基金

08

まちづくり

ポストコロナのミュージックビデオ「さんぶんのに」制作

「コロナ禍でも人と人とのつながりを大切にしていこう」というメッセージを込め、兵庫県の助成・協力を受けて、アコースティックデュオ「にこいち」の楽曲を動画にしたミュージックビデオ「さんぶんのに」を制作しました。

楽曲は店舗内のBGMなど、様々な場面で活用されました。

YouTube「さんぶんのに」
～ポストコロナメッセージソング
コープこうべ×にこいち～